

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37201	社会福祉論 Social Welfare	松井 康成	専門	2	選択	1・2年 前期
<p>社会福祉は医療、介護における狭義的な概念ではなく、子ども、母子、低所得者等を含めた広義的概念において「人の豊かな生活」の実現を目指す。待機児童、貧困格差、少子高齢化など、日本が抱える社会的課題をできるだけ身近な問題として取り扱い、その解決方法を論理的かつ科学的思考に基づいて模索する過程を通じて、広い視野と柔軟な思考を身につけ、独自の発想や表現ができる力を身につける。</p>						
学修内容			到達目標			
① 社会福祉の理念や思想を理解する。 ② 社会福祉の歴史を紐解き、今日の制度の在り方を考える。 ③ 社会福祉実践の基本を学ぶ。 ④ 社会福祉の具体的な実践や手法を学ぶ。			① 社会福祉の理念や思想について説明できる。 ② 社会福祉の歴史的背景や現行制度の設計意図が説明できる。 ③ 社会福祉実践の具体例を1つでも説明できる。 ④ 社会福祉の具体的な実践の意図について説明できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	自らの知識や技能を振り返り、不足している点を克服しようと努力することができる				
	働きかけ力					
	実行力	社会情勢に関心を持ち、自ら調べたり、発見することができる。				
考え抜く力	課題発見力	課題を発見し、それを克服しようと努力したり、克服することができる。				
	計画力					
	創造力	対象者の可能性や、必要な支援を創造できる。				
チームで働く力	発信力	自らの考えを他者に対して適切に発信できる。				
	傾聴力	価値観の違う他者からの発信を受け入れることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	他者の意見を遮ったり、批判したり、否定することなく、尊重しあうことができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:改訂版「新しいソーシャルワーク」社会福祉援助技術入門 中央法規出版 その他資料を適宜配布する 参考文献:なし						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:日本国憲法 資格との関連:社会教育主事						
学修上の助言			受講生とのルール			
授業では講義内容を示したプリント(レジュメ)やパワーポイントを準備します。レジュメには随所に自ら書き入れる箇所を設けますので、講義で示した内容を書き込むようにしましょう。			新聞や電子媒体等を通じて社会福祉の動きに関心を持ちましょう。またグループディスカッションでは積極的に意見交換を行ってください。授業を欠席した場合は、欠席回数分の課題をレポートにまとめ提出すること。(必須) ※学習状況によっては講義計画を変更することがあります。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	60	①	✓	次の到達レベルを持って合格の基準とする。 ・介護保険制度・障害者総合支援法・生活保護法について説明ができる・・・S ・社会保障制度の仕組みが理解できる・・・A ・社会保障制度に関する基本的な知識が理解できる・・・B ・介護保険制度に関する語句がわかる・・・C ・Cのレベルに達していない・・・F
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
小テスト	10	①	✓	第15週目に全10問の小テストを実施し、過去の学修の確認を行う。1問1点で構成され、終了後提出する。5肢択一方式もしくは短文記述形式を基本とし、担当教員が作成する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
レポート	20	①	✓	第8週目に行うレポート課題に対し、自分の考えを自分の言葉で表現できる能力を評価する。また提出は第11週目の授業開始前とする。作成はパソコン等を使用しプリントアウトされたものを提出することが望ましいが、手書きレポートでも可とする。その際は読み手にとっての読みやすさを考慮すること。字の判別ができないものは再提出を促す。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		「主体性」不明な点は質問をしたり、文献を紐解くなどして自己解決のための努力ができること。 「実行力」自ら目標を設定し、到達に向けた努力ができること。 「課題発見力」日頃から福祉領域に対する関心を持つことができ、関連する社会的課題を発見することができること。 「想像力」社会的課題に対して、自分なりの解決方法を想像することができること。 「発信力」意見交換やグループディスカッション内で聞き手にわかりやすく伝えることができること。 「傾聴力」意見交換やグループディスカッション内で話し手の意見を十分に聞くことができること。 「規律性」無断欠席、遅刻、私語など、授業に支障を来す行動をせず、ルールを遵守した行動ができる。
		②		
		③		
		④		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
① 社会福祉の理念や思想について説明でき、それに対する自らの意見を論理的に発信できる。 ② 社会福祉の歴史的背景や現行制度の設計意図が説明でき、それに対する自らの意見を論理的に発信できる。 ③ 社会福祉実践の基本的理解ができ、それを現場実践に応用(発展)させて理解することができる。 ④ 社会福祉の具体的な実践、手法が理解でき、それについて自らの意見を論理的に発信できる。  S(秀) = ①～④全て、A(優) = ①～④のうち2つ以上	① 社会福祉の理念や思想について説明できる。 ② 社会福祉の歴史的背景や現行制度の設計意図が説明できる。 ③ 社会福祉実践の基本的理解ができる。 ④ 社会福祉の具体的な実践、手法が理解できる。  B(良) = ①～④全て、C(可) = ①～④のうち2つ以上

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	○イントロダクション 授業の目的、進め方について確認し、課題や成績評価、期末試験等の概要を学習する。	資料を使った講義	授業の目的、進め方について理解し、課題や成績評価、期末試験等の概要が理解できる。	(予習)憲法第25条第1項の暗記 (復習)予習復習ノート作成	90	規律性 傾聴性
2週 /	○社会福祉の歴史 日本国憲法における社会福祉との関連性や、諸制度の成り立ちから今日の社会福祉制度の存在意義について学習する。	資料とレジュメを使用した講義 社会福祉について学ぶ意義を確認しあうためのディスカッション	憲法と社会福祉の関係性や、関連する諸制度の成り立ちから社会福祉制度を見つめ、理解することができる。	(予習) 高齢者問題について1つ新聞記事を切り抜いて持参する。 (復習) 憲法第25条と社会福祉法との結びつきについてまとめる。	90	規律性 傾聴性
3週 /	○対象者の理解(1) 「高齢者」 高齢者の特徴、社会的背景を学ぶ。介護保険等の対象をとりまく制度について学習する。	資料とレジュメを使用した講義 介護保険がもたらした効果についてディスカッション	高齢者の特徴、社会的背景が理解でき、介護保険等の対象をとりまく制度の意義を理解できる。	(予習) 障害者問題について1つ新聞記事を切り抜いて持参する。 (復習) 介護保険法第1条が示す重要な内容を箇条書きで2つ以上にまとめる。	90	規律性 傾聴性
4週 /	○対象者の理解(2) 「障害者」 障害者の特徴、社会的背景を学ぶ。障害者総合支援法等の対象をとりまく制度について学習する。	配布資料とレジュメに沿った講義 復習内容の発表と全体考察	障害者の特徴、社会的背景が理解でき、障害者総合支援法等の対象をとりまく制度を理解することができる。	(予習) 子どもや母子をとりまく問題について1つ新聞記事を切り抜き持参する。 (復習) 障害者総合支援法第1条が示す重要な内容を箇条書きで2つ以上にまとめる。	90	規律性 傾聴性
5週 /	○対象者の理解(3) 「子ども、母子」 子どもや母子の特徴、社会的背景を学ぶ。関連する諸制度について学習する。	配布資料とレジュメに沿った講義 復習内容の発表と全体考察	子どもや母子の特徴、社会的背景が理解でき、対象者をとりまく制度について理解することができる。	(予習) 低所得者にまつわる新聞記事を1つ切り抜き持参する。 (復習) 児童福祉法第1条を予習復習ノートに書き写す。	90	規律性 傾聴性
6週 /	○対象者の理解(4) 「低所得者」 低所得者の特徴や社会的背景を学ぶ、関連する諸制度について学習する。	配布資料とレジュメに沿った講義	低所得者の特徴、社会的背景が理解でき、対象者をとりまく制度について理解することができる。	(予習) 社会福祉協議会の役割についてまとめる。 (復習) 生活保護法第1条が示す重要な内容を箇条書きで2つ以上にまとめる。	90	規律性 傾聴性
7週 /	○社会福祉の機関と施設 社会福祉協議会や福祉事務所の役割、国や都道府県との関わりなどの社会福祉の推進体制について学習する。	配布資料とレジュメに沿った講義 復習内容の発表と全体考察	公的機関と社会福祉法人の違いを理解することができる。またそれぞれの役割について区別して理解することができる。	(予習) 社会福祉の担い手となる職種を1つ選び、その者の役割についてまとめる。 (復習) 社会福祉法第1条が示す重要な内容を箇条書きで2つ以上にまとめる。	90	規律性 傾聴性
8週 /	○社会福祉の担い手と専門職 社会福祉の担い手における社会的背景、専門職の主な役割と実態について学習する。	配布資料とレジュメに沿った講義 復習内容の発表と全体考察	社会福祉の担い手における社会的背景、専門職の主な役割と実態について理解することができる。	(予習) バイスティブの7原則とは何かをまとめる。 (復習) レポート課題 「介護保険法、障害者総合支援法、児童福祉法、生活保護法の4制度におけるその役割と考察」11週目の授業開始前に提出すること。	90	規律性 傾聴性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	○個別援助技術 個別援助技術の概要を学ぶ。バイスティックの7原則、パールマンの4つのPについてその内容を学ぶ。	配布資料とレジュメに沿った講義 バイスティックの7原則に基づいた相談援助技術演習	個別援助技術の概要が理解でき、バイスティックの7原則、パールマンの4つのPについて、それぞれ区別して理解することができる。	(予習) コノプカが示す集団援助技術の原則とは何かをまとめる。 (復習) 演習の感想をまとめる。	90	規律性 傾聴性 主体性
10週 /	○集団援助技術 集団援助技術の概要を学ぶ。コノプカが示す集団援助技術の原則を基に、グループワークでの演習を通じて学習する。	配布資料とレジュメに沿った講義 コノプカの原則に基づいた集団援助技術演習	集団援助技術の概要が理解でき、集団的ワークを通じてコノプカの原則について理解できる。	(予習) 地域福祉の推進は誰が主体的に行うかを調べ、まとめる。 (復習) 演習の感想をまとめる。	90	規律性 傾聴性 主体性
11週 /	○地域援助技術 地域における社会福祉の意義や目的について学び、その推進者に求められる役割を学習する。	配布資料とレジュメに沿った講義 レポート課題提出	地域における社会福祉の意義や目的について理解し、その推進者に求められる役割を理解できる。	(予習) ケアマネジャーの役割について調べる。 (復習) あなたができる地域福祉活動は何があるかを想像しまとめる。	90	規律性 傾聴性
12週 /	○ケアマネジメント ケアマネジメントにおける意義や目的について学び、その推進者の役割を学習する。	配布資料とレジュメに沿った講義 復習内容の発表と全体考察	ケアマネジメントにおける意義や目的について理解し、その推進者の役割について理解する。	(予習) 障害者就労支援サービスを1種類選び、その役割について調べる。 (復習) ケアマネジメントの目的は何かをまとめる。	90	規律性 傾聴性
13週 /	○就労支援について 社会福祉対象者における就労支援の実態と支援の在り方について学習する。	配布資料とレジュメに沿った講義 復習内容の発表と全体考察	社会福祉対象者における就労支援の実態と支援の在り方について理解する。	(予習) コノプカが示す集団援助技術における原則とは何かを再確認する。 (復習) 就労支援サービスの目的と役割についてまとめる。	90	規律性 傾聴性
14週 /	○グループディスカッション あるテーマについて集団援助技術を活用し、グループ討議を行う。	テーマに沿ったグループ討議 司会役、書記・発表役を各グループで選出し、討議運営を委ねる。討議後に発表を行う。	集団援助技術を活用し、グループ討議を通じて自らの意見を他者に発信できる。	(予習) これまでの学びを予習復習ノートから振り返り、重要なポイントにマーカーを引く。 (復習) グループ討議の感想をまとめる。	90	規律性 傾聴性 主体性 発信力
15週 /	○まとめ これまでの学習内容について総括する	講義	これまでの自分の学びを振り返り、知識の蓄積を自己覚知できる。	(復習) 小テストの実施	90	規律性 傾聴性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力